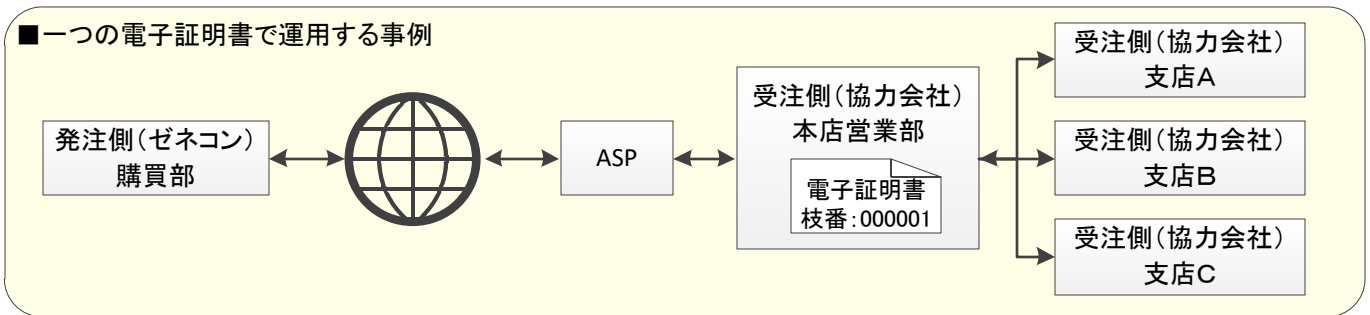


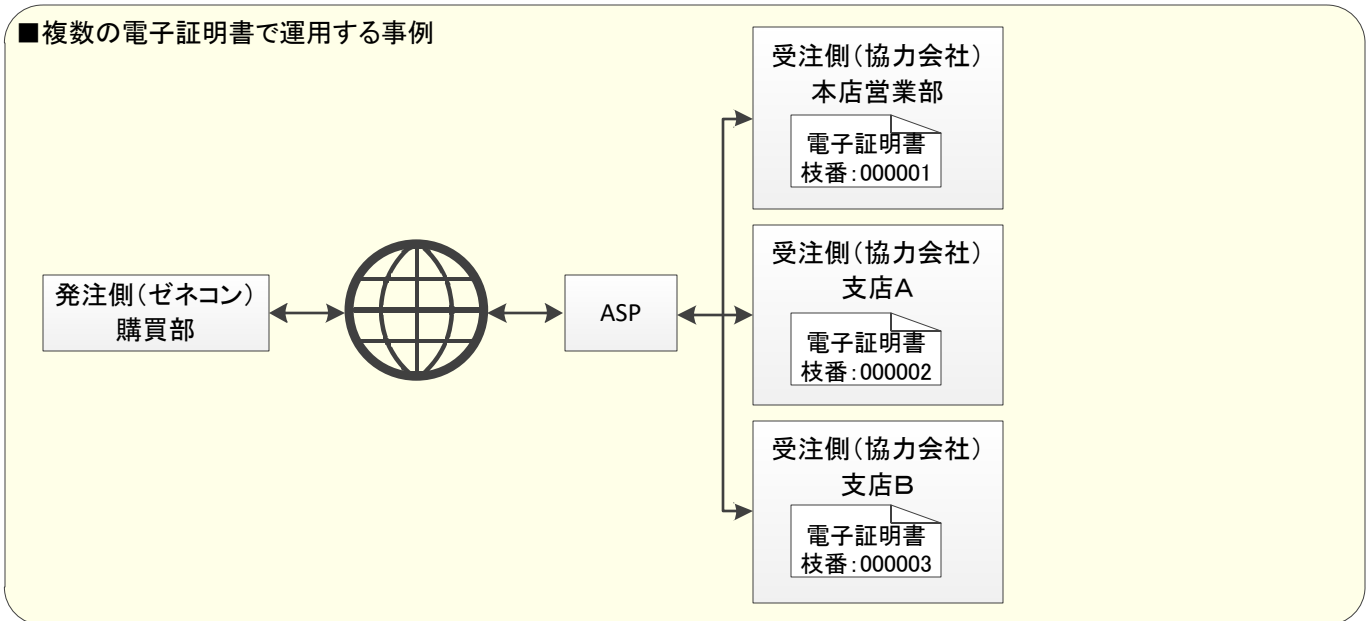
## ■電子証明書の複数運用について

### ●支店毎にデータを分けて管理する場合

#### ■一つの電子証明書で運用する事例



#### ■複数の電子証明書で運用する事例



### ●本来のCI-NETの運用とは別方式で行う場合

CI-NETは建設業界のEDI標準でありますので、CI-NET形式のデータであれば誰とでも送受信出来る事が基本理念となっております。ただし、自社のWEBサーバ等のクローズした環境で見積、契約等を行う場合があり、その場合であっても、CI-NET用の電子証明書の利用を許容しています。

クローズした中で使用していた電子証明書を、通常の(オープンな環境での使用前提とする)CI-NETの受発注で使用すると、様々な不具合が発生する恐れがあり、通常のCI-NETで運用している電子証明書とは別の電子証明書を使用をお願いしています。

ご不明な点や詳細につきましては、CI-NET事務局までお問い合わせください。

お問い合わせは、メールにてお願いしています。ご用件の内容のほか、当方より連絡を取る際に必要な事項のご記入もお願いしています。

[お問い合わせフォームを開く](#)

#### ■クローズした環境での電子商取引を追加した場合の電子証明書の運用事例

